

再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：鈴木 克宗

事業名 函館・江差自動車道（一般国道228号） 函館茂辺地道路	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 北海道開発局
起終点 自：北海道函館市桔梗町 至：北海道上磯郡上磯町字茂辺地		延長 18.0km
事業概要 函館・江差自動車道は、函館市から江差町に至る延長約70kmの一般国道の自動車専用道路である。このうち函館茂辺地道路は、函館ICから茂辺地ICに至る延長18.0kmの区間で、函館圏域の交通渋滞の緩和及び日常生活や物流・観光など、函館都市圏への広域ネットワークの構築等を目的としている。		
H2年度事業化 S年度都市計画決定 H4年度用地着手 H5年度工事着手		
全体事業費 約698億円 事業進捗率 79% 供用済延長 8.0km		
計画交通量 15,900台/日		
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.3 (残事業) 4.9	総費用 (残事業)/事業全体 149/831億円 (事業費：123/784億円) (維持管理費：26/47億円)
		総便益 (残事業)/事業全体 737/1,044億円 (走行時間短縮便益：632/878億円) (走行経費減少便益：75/114億円) (交通事故減少便益：30/52億円)
基準年 平成16年		
感度分析の結果 事業全体について感度分析を実施 交通量変動：B/C=1.4(交通量+10%) B/C=1.1(交通量-10%) 事業費変動：B/C=1.2(事業費+10%) B/C=1.4(事業費-10%) 事業期間変動：B/C=1.1(事業期間+20%) B/C=1.4(事業期間-20%)		
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（渋滞の解消、空港へのアクセス向上） ・物流効率化の支援（大都市圏への農林水産品の流通の利便性向上） ・個性ある地域の形成（公共公益施設へのアクセス向上）		
		他7項目に該当
関係する地方公共団体等の意見 函館・江差自動車道函館茂辺地道路は、南北海道地域の産業経済の活性化を図る上で、必要不可欠であることから、函館市をはじめとする関係27市町村の首長・議会議長で構成される高規格幹線道路函館・江差自動車道早期建設促進期成会より早期整備の要望を受けている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 函館・江差自動車道 函館IC～上磯IC間(L=8km)が平成14年度に開通したことにより、並行する区間の交差点で渋滞が緩和されている。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成5年度より工事に着手している。軟弱地盤の処理などを行うことにより平成14年度までにL=8.0kmの供用を開始している。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 埋蔵文化財の調査に時間を要しているが、計画的に進めている。引き続き事業が順調に進んだ場合、平成20年代前半の事業完了を予定している。		
施設の構造や工法の変更等 設計方法の見直し、建設副産物対策など、コスト縮減を図っている。また、追加ICによる早期整備効果の発現などコスト縮減を推進する。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図 		

凡例	
—	供用中
■■■■	事業中
▨▨▨	再評価箇所
▨▨▨	うち供用中

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。